【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成18年12月28日(2006.12.28)

【公開番号】特開2004-234106(P2004-234106A)
【公開日】平成16年8月19日(2004.8.19)
【年通号数】公開・登録公報2004-032
【出願番号】特願2003-19001(P2003-19001)
【国際特許分類】
*Ｇ０６Ｆ　3/12　(2006.01)*
*Ｂ４１Ｊ　5/30　(2006.01)*
*Ｇ０３Ｇ　21/00　(2006.01)*
*Ｇ０６Ｔ　1/20　(2006.01)*
*Ｈ０４Ｎ　1/00　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　3/12　Ｃ
Ｂ４１Ｊ　5/30　Ｚ
Ｇ０３Ｇ　21/00　３７０
Ｇ０６Ｔ　1/20　Ａ
Ｈ０４Ｎ　1/00　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成18年11月13日(2006.11.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
画像入力機器及び画像出力機器の少なくともいずれかを有する画像処理装置であって、
前記画像入力機器から入力される画像データの処理内容を指定するための指定手段と、
前記指定手段により指定された前記処理内容に従って前記画像データを処理するための演算処理手段と、
前記指定手段によって指定された前記処理内容に基づいて、前記演算処理手段による処理内容を設定するための設定処理制御手段と、
前記指定手段により指定可能な処理内容を判別する判別手段と、
前記判別手段による判別結果に応じて前記指定手段による指定可能な処理内容を制限する指定制限手段と、
を有することを特徴とする画像処理装置。
【請求項２】
前記演算処理手段は、プログラムにより制御される画像演算プロセッサを含むことを特徴とする請求項１に記載の画像処理装置。
【請求項３】
前記設定処理制御手段は、前記画像演算プロセッサに対して演算制御プログラムを供給することを特徴とする請求項２に記載の画像処理装置。
【請求項４】
前記設定処理制御手段は、前記指定手段によって指定された前記処理内容に基づいて前記画像演算プロセッサに供給する前記演算制御プログラムを変更することを特徴とする請求項２又は３に記載の画像処理装置。

【請求項５】
前記判別手段は、前記画像演算プロセッサが実行する前記演算制御プログラムの処理ステップ数に基づいて、前記指定手段により指定可能な処理内容と指定不可能な処理内容とを判別することを特徴とする請求項２乃至４のいずれか１項に記載の画像処理装置。
【請求項６】
前記判別手段は、前記画像演算プロセッサが実行する演算制御プログラムの処理ステップ数に基づいて決定される毎分あたりの処理ページ数が、前記画像処理装置の毎分当りの最高出力ページ数以下である場合に指定可能であると判別することを特徴とする請求項２乃至４のいずれか１項に記載の画像処理装置。
【請求項７】
前記判別手段による判別結果に応じて、前記指定手段により指定可能な処理内容と指定不可能な処理内容とを区別して表示する表示制御手段を更に有することを特徴とする請求項５又は６に記載の画像処理装置。
【請求項８】
前記判別手段により前記指定手段による指定不可能と判別された場合、前記演算処理手段により処理される前記画像データの処理方向を変更する処理方向変更手段を更に有することを特徴とする請求項１乃至７のいずれか１項に記載の画像処理装置。
【請求項９】
画像入力機器及び画像出力機器の少なくともいずれかを有する画像処理装置における画像処理方法であって、
指定手段が、前記画像入力機器から入力される画像データの処理内容を指定するための指定工程と、
演算処理手段が、前記指定工程で指定された前記処理内容に従って前記画像データを処理するための演算処理工程と、
設定処理制御手段が、前記指定工程で指定された前記処理内容に基づいて、前記演算処理工程における処理内容を設定するための設定処理制御工程と、
判別手段が、前記指定工程で指定可能な処理内容を判別する判別工程と、
指定制限手段が、前記判別工程での判別結果に応じて前記指定工程で指定可能な処理内容を制限する指定制限工程と、
を有することを特徴とする画像処理方法。
【請求項１０】
前記演算処理工程では、プログラムにより制御される画像演算プロセッサを含むことを特徴とする請求項９に記載の画像処理方法。
【請求項１１】
前記設定処理制御工程では、前記画像演算プロセッサに対して演算制御プログラムを供給することを特徴とする請求項１０に記載の画像処理方法。
【請求項１２】
前記設定処理制御工程では、前記指定工程によって指定された前記処理内容に基づいて、前記画像演算プロセッサに供給する前記演算制御プログラムを変更することを特徴とする請求項１０又は１１に記載の画像処理方法。
【請求項１３】
前記判別工程では、前記画像演算プロセッサが実行する前記演算制御プログラムの処理ステップ数に基づいて、前記指定工程により指定可能な処理内容と指定不可能な処理内容とを判別することを特徴とする請求項１０乃至１２のいずれか１項に記載の画像処理方法。
【請求項１４】
前記判別工程では、前記画像演算プロセッサが実行する演算制御プログラムの処理ステップ数に基づいて決定される毎分あたりの処理ページ数が、前記画像処理装置の毎分当りの最高出力ページ数以下である場合に指定可能であると判別することを特徴とする請求項１０乃至１２のいずれか１項に記載の画像処理方法。

【請求項１５】
前記判別工程での判別結果に応じて、前記指定工程で指定可能な処理内容と指定不可能な処理内容とを区別して表示する表示制御工程を更に有することを特徴とする請求項１３又は１４に記載の画像処理方法。
【請求項１６】
前記判別工程で、前記指定工程で指定不可能と判別された場合、前記演算処理工程で処理される前記画像データの処理方向を変更する処理方向変更工程を更に有することを特徴とする請求項９乃至１５のいずれか１項に記載の画像処理方法。
【請求項１７】
画像入力機器及び画像出力機器の少なくともいずれかを有する画像処理装置の制御プログラムであって、
前記画像入力機器から入力される画像データの処理内容を指定するための指定工程と、
前記指定工程で指定された前記処理内容に従って前記画像データを処理するための演算処理工程と、
前記指定工程で指定された前記処理内容に基づいて、前記演算処理工程における処理内容を設定するための設定処理制御工程と、
前記指定工程で指定可能な処理内容を判別する判別工程と、
前記判別工程での判別結果に応じて前記指定工程で指定可能な処理内容を制限する指定制限工程と、
を前記画像処理装置に実行させることを特徴とする画像処理装置の制御プログラム。
【請求項１８】
請求項１７に記載の制御プログラムを格納したことを特徴とする、コンピュータにより読取り可能な記憶媒体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
【課題を解決するための手段】
上記目的を達成するために本発明の画像処理装置は以下のような構成を備える。即ち、
画像入力機器及び画像出力機器の少なくともいずれかを有する画像処理装置であって、
前記画像入力機器から入力される画像データの処理内容を指定するための指定手段と、
前記指定手段により指定された前記処理内容に従って前記画像データを処理するための演算処理手段と、
前記指定手段によって指定された前記処理内容に基づいて、前記演算処理手段による処理内容を設定するための設定処理制御手段と、
前記指定手段により指定可能な処理内容を判別する判別手段と、
前記判別手段による判別結果に応じて前記指定手段による指定可能な処理内容を制限する指定制限手段と、
を有することを特徴とする。
上記目的を達成するために本発明の画像処理方法は以下のような工程を備える。即ち、
画像入力機器及び画像出力機器の少なくともいずれかを有する画像処理装置における画像処理方法であって、
指定手段が、前記画像入力機器から入力される画像データの処理内容を指定するための指定工程と、
演算処理手段が、前記指定工程で指定された前記処理内容に従って前記画像データを処理するための演算処理工程と、
設定処理制御手段が、前記指定工程で指定された前記処理内容に基づいて、前記演算処理工程における処理内容を設定するための設定処理制御工程と、

判別手段が、前記指定工程で指定可能な処理内容を判別する判別工程と、
指定制限手段が、前記判別工程での判別結果に応じて前記指定工程で指定可能な処理内容を制限する指定制限工程と、
を有することを特徴とする。